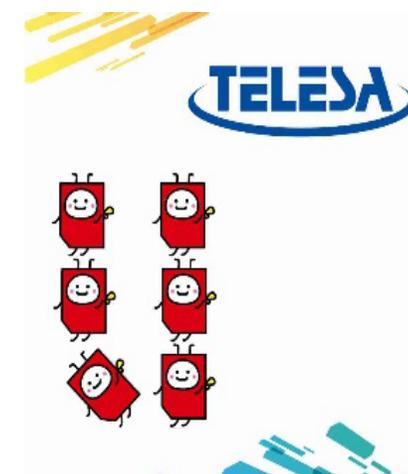


接続料の算定等に関する研究会（第64回） 事業者ヒアリング資料

2022年11月15日

一般社団法人テレコムサービス協会
MVNO委員会

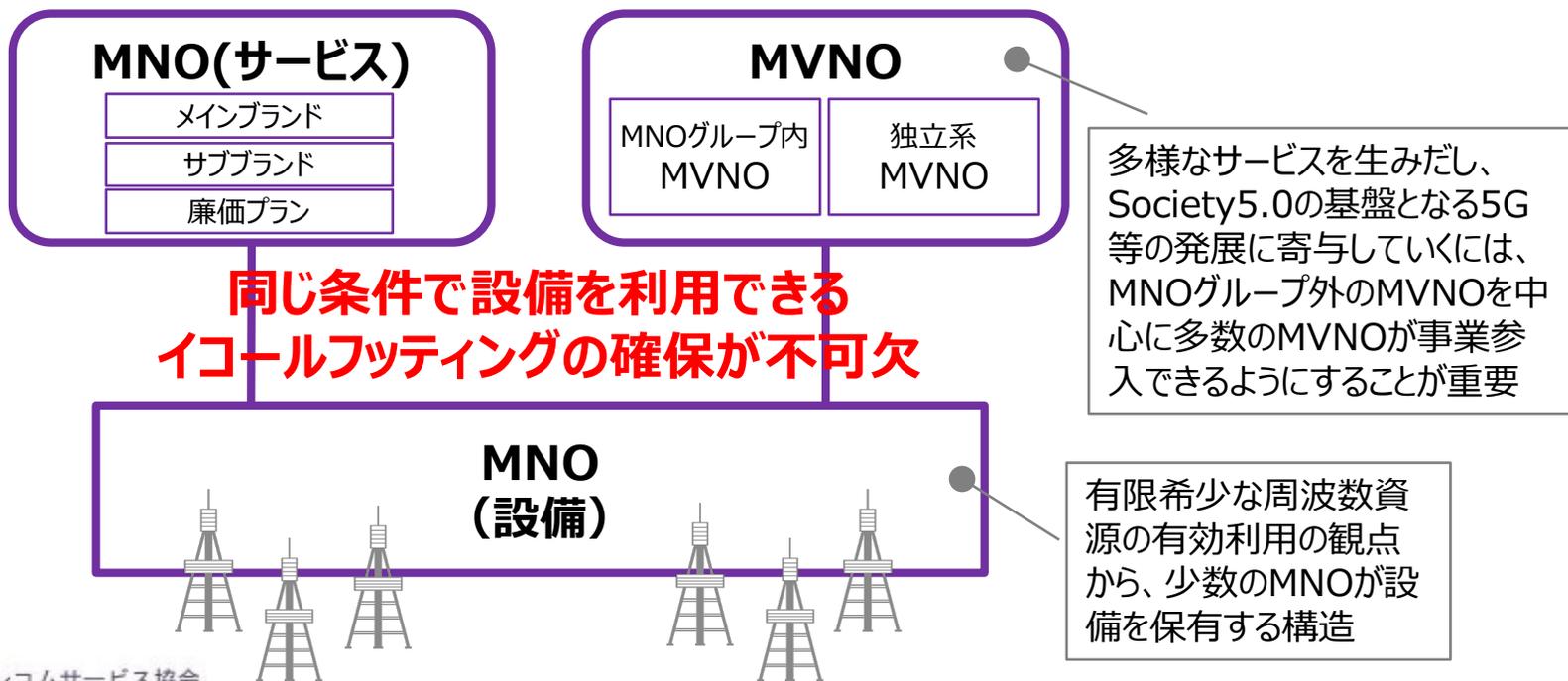


しむし

© 〇〇 MVNO委員会

望まれる競争環境

- **MVNOは、従来のMNOによる寡占市場に楔を打ち込むとともに、移动通信市場の競争を活性化させることで、消費者の選択肢の多様化や利便性の向上に寄与してきた**
- 今後も、移动通信市場において多様なサービスが生まだされ、**Society5.0の基盤となる5GやBeyond5Gの発展**のためには、有限希少な周波数資源の有効利用の観点から、少数のMNOが設備を保有する構造が避けられない中、多数のMVNOが事業参入できるように、**「設備を保有するMNO」と「保有しないMVNO」が同じ条件で設備を利用することができるイコルフットイングの確保が必要不可欠**である
- また、MNOグループによる寡占を防ぐため、MNO本体のみならず**MNOグループ内MVNOと、独立系MVNO間のイコルフットイングも極めて重要**



イコールフットイングの確保のための要望書(抜粋)

＜2021年1月18日付＞

- 今般、MNO各社において新たな料金プラン（以下、「廉価プラン」という）の導入が発表されたことについては、家計負担の軽減に繋がるものであり消費者にとって望ましいものである。一方で、この「廉価プラン」については、多くのMVNOの提供するプランと利用者料金水準が接近するものとなっていることから、MVNOに対し深刻な影響を与える可能性があり、MVNOにとっては「廉価プラン」に対抗するサービス提供が不可欠となる。しかしながら、これらの「廉価プラン」は、現行の接続料や卸料金では、MVNOが実現することが極めて困難なプラン（データ容量、データ通信品質、無料通話）となっており、接続料や卸料金が、MNOとMVNOのイコールフットイングの観点から適正ではないとの強い疑義を生じさせるものとなっている。
- このような状況を放置すれば、これまで長年に亘り総務省殿が推進してきたMVNO振興を含む競争政策を後退させることとなり、移動通信市場がMNOグループによる協調的寡占状態に回帰し、MVNOがこれまで果たしてきたサービスの高度化や多様化が将来に亘り失われかねず、更には料金の低廉化が期待できなくなる等、消費者にとって決して好ましいものとならない。
- 以上のような状況に鑑み、MNOとMVNOが同じ条件で公正に競争するためのイコールフットイングの早期実現が喫緊の課題と考えており、MNOとMVNOのイコールフットイングを確保するための緊急措置の実施について、別紙のとおり強く要望する。

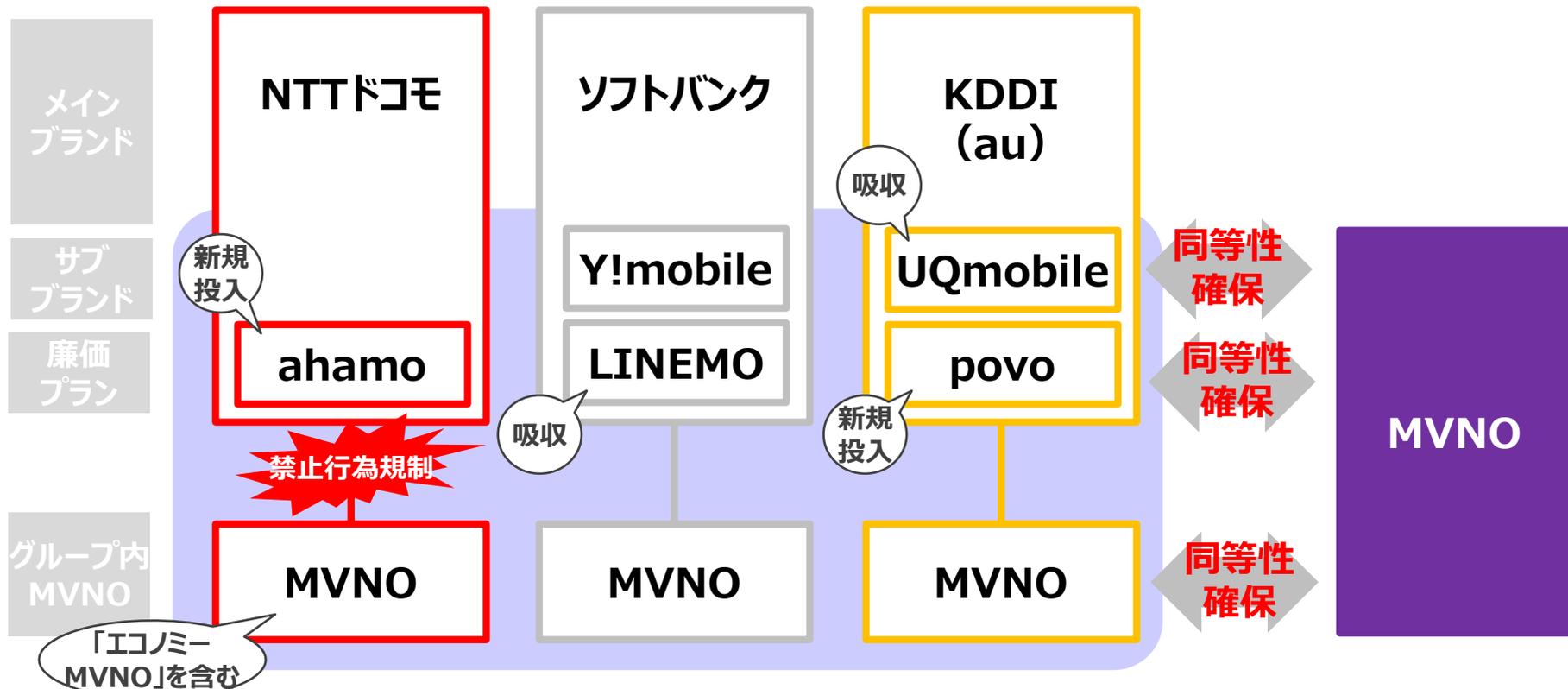
＜別紙＞

1. データ接続料について
2. 音声卸料金について
3. イコールフットイングを担保するルールの在り方について
－いわゆるスタックテストの実施等

今回の論点

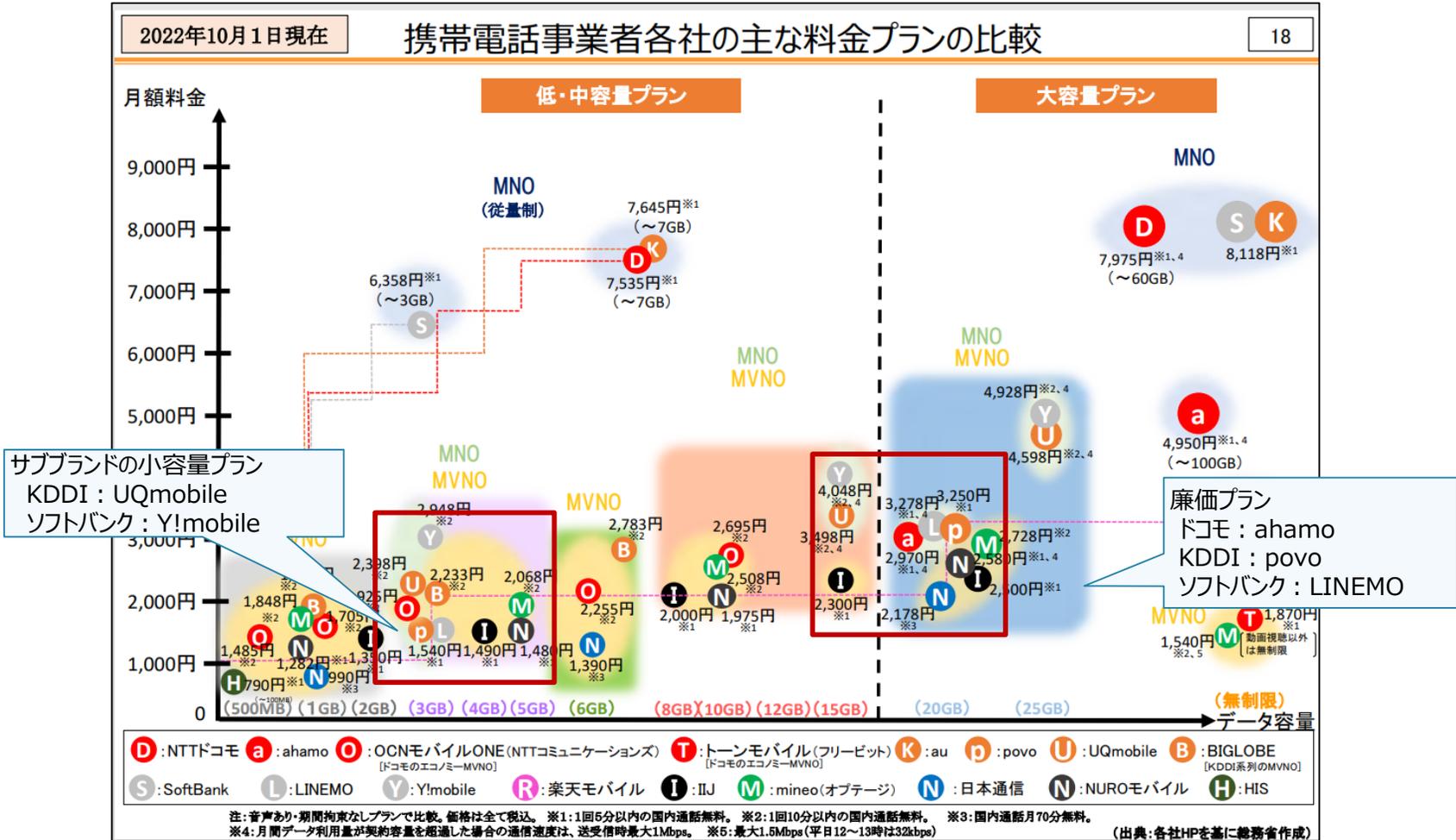
至近のモバイル市場の競争状況

- 別会社であったサブブランドやグループ内MVNOを、MNO本体に吸収する動きが見られ、またMNO本体がMVNOと競合する廉価プランを投入するなど、市場競争はさらに熾烈に
- 加えて、NTTドコモにおいては、「エコミーMVNO」と銘打ってMVNOとの連携を開始
- そのような市場環境の変化と市場競争の高まりを受け、MNOやグループ内MVNOと、独立系MVNOとの同等性（イコールフットイング）の確保は、これまで以上に重要となってきた



至近のモバイル市場の競争状況

- MNOが廉価プランを投入し、さらに一部では小容量プランや0円スタートのプランも提供
 - 加えて、サブブランド(UQmobile/Y!mobile)についても低～中容量帯において、料金値下げを実施
- ⇒ **大容量・高額**の領域を除き、MNOとMVNOの料金水準が接近・混在する状況となっている

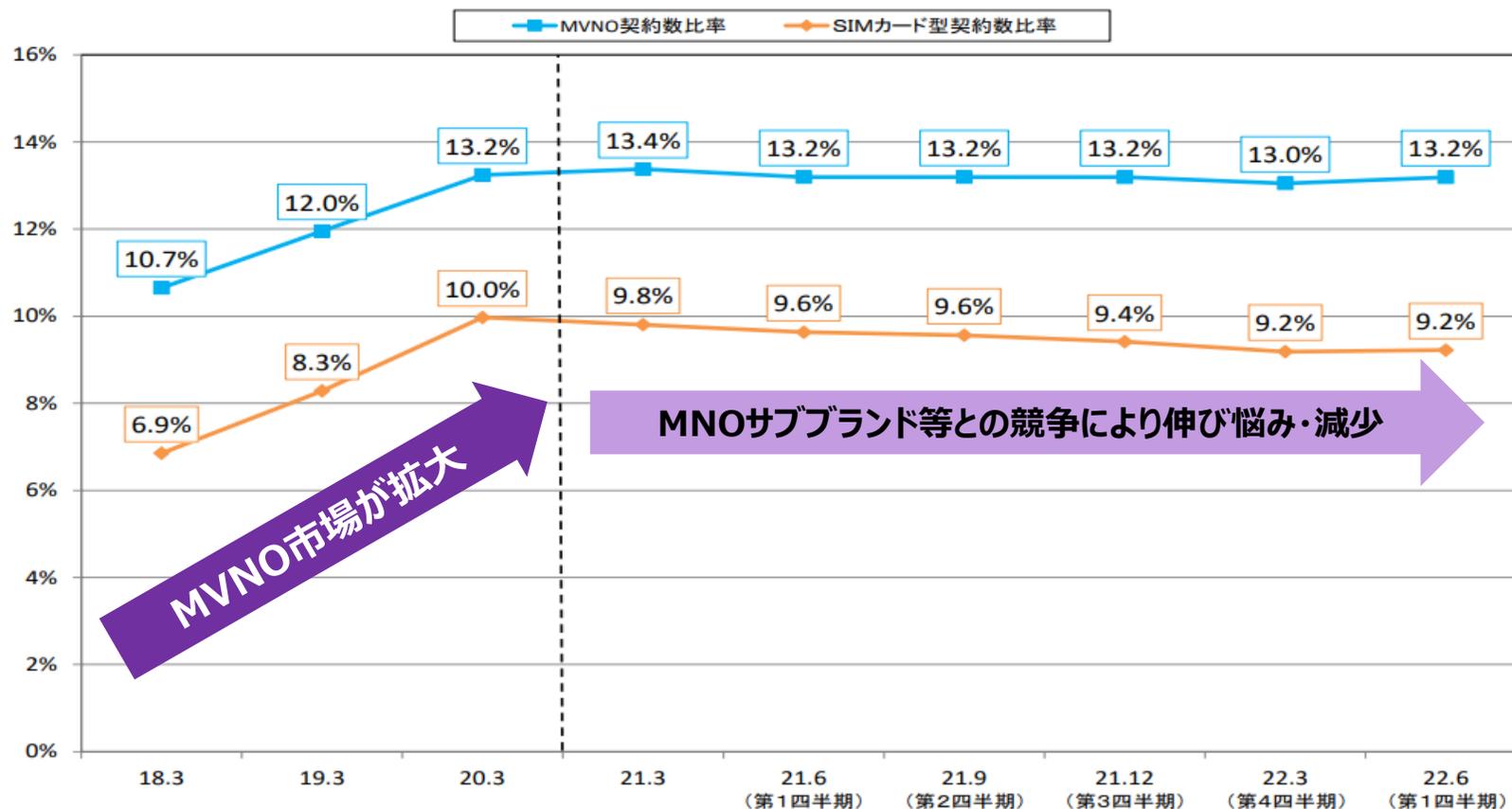


出典：競争ルールの検証に関するWG（第36回）事務局資料より引用

MVNOの契約比率の推移

- 至近は、MNOのサブブランドや廉価プラン等の影響によりMVNOのシェアは伸び悩み・減少傾向

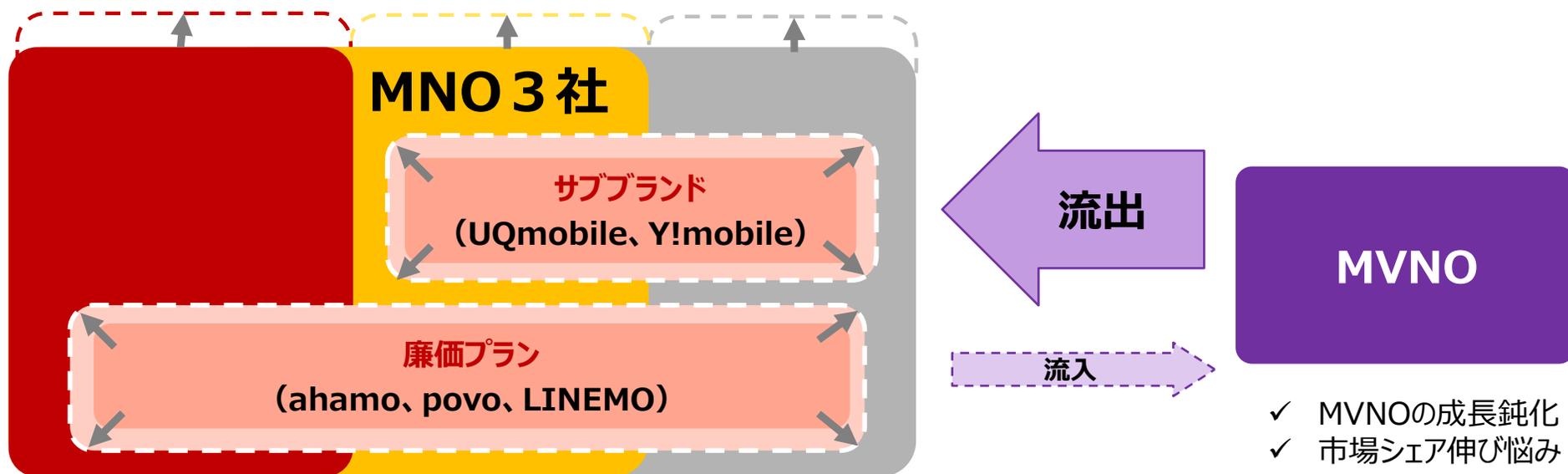
MVNOサービスの契約数比率及び
MVNOが提供するSIMカード型の契約数比率の推移



スタックテスト対象プランに対する当委員会の考え

- MNOサブブランドの料金値下げや廉価プランの登場等によりMNOとMVNOの料金水準が近接し、料金面と品質面のバランス等で優位なサブブランド・廉価プランへの流出が増加することで、競争環境に影響が生じている状況
- MNOとMVNO間の公正競争の確保のためには、モバイル市場の中で特にMVNOと競合関係にあるサブブランドや廉価プランをスタックテストの対象とすることを要望

●現状の市場イメージ



参考:これまでの当委員会意見

各論点に対する当協会意見②

6

(1)検証対象

<対象サービス・プラン>

- 検証の対象とすべきサービスや料金プランについてどのように考えるか。固定通信分野では、サービスブランドごとに大括りで検証対象を選定するとともに、新規かつ今後相当の需要の増加が見込まれるために将来原価方式による接続料算定を行っているサービスについては、より詳細に利用者に提供されるサービスメニューを総務省が指定して検証を実施している。
 - 検証対象サービス・プランの選定に当たっては、接続料の水準の妥当性を確認することを主眼に検証を実施することを踏まえれば、MVNOの意見を十分に踏まえることが必要ではないか。
 - モバイル分野においては、固定通信分野と比較して、提供される料金プランの変更が頻繁に行われている実態があること から、一定程度柔軟に検証対象を選定可能とすることについて考慮する必要があるのではないか。
 - その他、検証に当たってあらかじめ定めておくべき事項はあるか。
- 昨年2月に発表した総務省宛「要望書」でも取り上げた**二種指定事業者各社の「廉価プラン」**に加え、MVNOの料金プランと近接している**二種指定事業者の提供する「サブブランド」**を対象とすることを要望する
 - 新プラン・新ブランドの追加や変更、グループ内外での事業譲渡等、昨今のモバイル市場における変化の速度を踏まえると、実効ある検証を行うためには、これらの**変化に柔軟に即応できる制度上の実装（ガイドライン等）**が望ましい
 - 例えば定期的な検証の他に、新プラン・新ブランドの追加、事業譲渡等が行われた後に、市場の競合状況から必要と思われる場合に、特定の料金プラン等を対象とした**アドホックの検証**を行うなどすることが考えられるのではないか

サブブランド・廉価プランとMVNO料金プランとの比較

- 低容量帯プラン（3～5GB）および中容量帯（15～20GB）ともに、サブブランド・廉価プランとMVNOの料金プランの料金水準は近接している状況

<低容量帯プランの比較>

項目（金額は税込）	UQmobile 音声3GBプラン	Y!mobile 音声3GBプラン	Povo2.0 音声3GBトッピング	LINEMO 音声3GBプラン	MVNO1 音声4GBプラン	MVNO2 音声5GBプラン
月額料金	¥1,628	¥2,178	¥990（※3）	¥990	¥990	¥1,518
月間利用可能データ容量	3GB				4GB	5GB
データ容量超過後速度（最大）	300kbps	300kbps	128kbps	300kbps	300kbps	200kbps
通信品質	メインブランドと同等				MVNOのMNOとの契約帯域に依存	
国内通話定額	¥770（※1）	¥770（※1）	¥550（※2）	¥550（※2）	¥500（※2）	¥550（※1）
月額料金+国内通話定額	¥2,398 固定セット割適用時 ¥1,760	¥2,948 固定セット割適用時 ¥1,760	¥1,540	¥1,540	¥1,490	¥2,068

<中容量帯プランの比較>

項目（金額は税込）	UQmobile 音声15GBプラン	Y!mobile 音声15GBプラン	ahamo 音声20GBプラン	Povo2.0 音声20GBトッピング	LINEMO 音声20GBプラン	MVNO1 音声20GBプラン	MVNO2 音声20GBプラン
月額料金	¥2,728	¥3,278	¥2,970	¥2,700	¥2,728	¥2,000	¥2,178
月間利用可能データ容量	15GB				20GB		
データ容量超過後速度（最大）	1Mbps	1Mbps	1Mbps	128kbps	1Mbps	300kbps	200kbps
通信品質	メインブランドと同等					MVNOのMNOとの契約帯域に依存	
国内通話定額	¥770（※1）	¥770（※1）	¥0（※2）	¥550（※2）	¥550（※2）	¥500（※2）	¥550（※1）
月額料金+国内通話定額	¥3,498 固定セット割適用時 ¥2,860	¥4,048 固定セット割適用時 ¥2,860	¥2,970	¥3,250	¥3,278	¥2,500	¥2,728

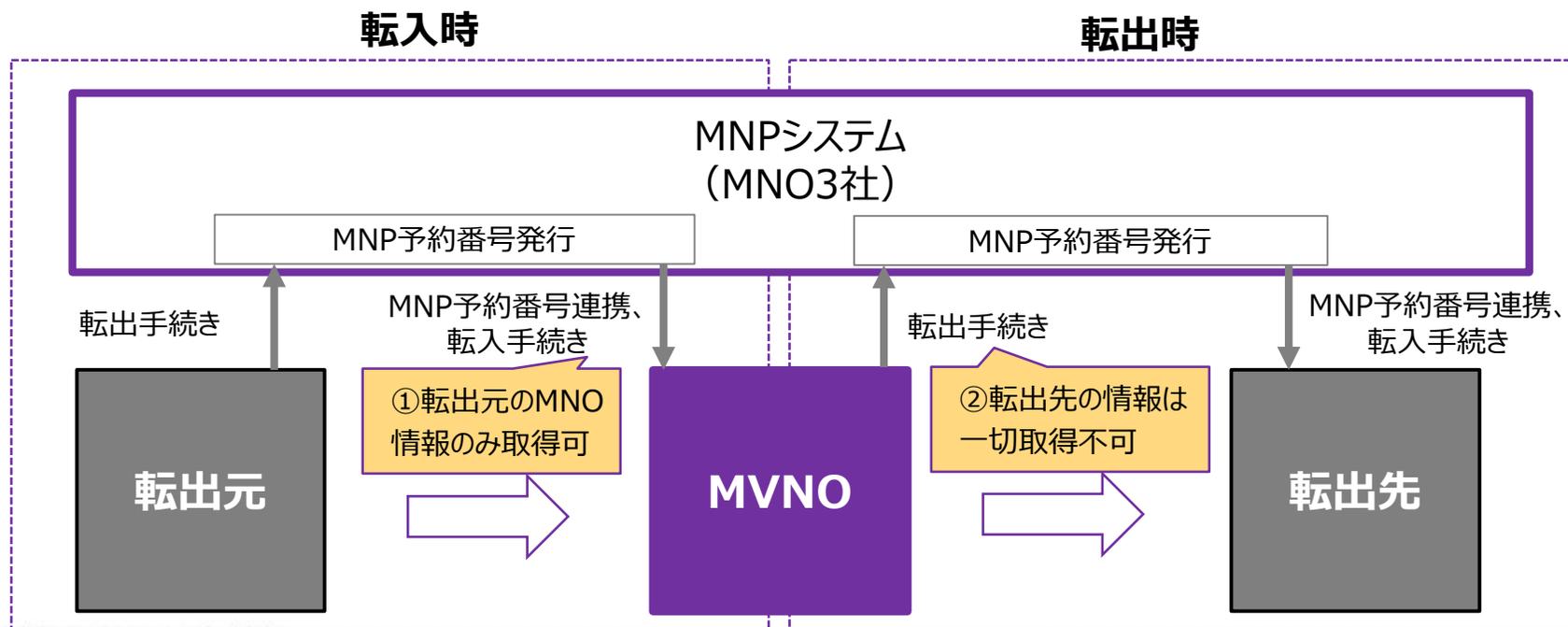
（※1）国内通話10分定額の価格（※2）国内通話5分定額の価格

（※3）月額基本料金0円に、30日間有効の3GBトッピング料金990円を加算したものと

※各社プランの内容は2022年11月1日時点のもの ※MVNO1～2は、IIJmio、mineo

(参考)MVNOによるMNP転入出動向の把握について

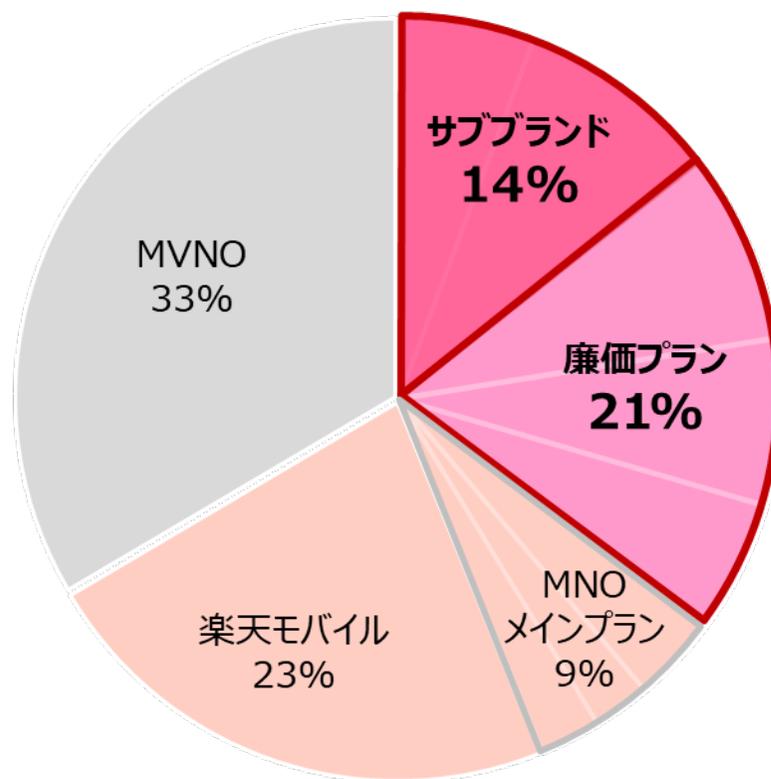
- MVNOはMNPの手続き時にMNOのMNPシステムを利用しているが、MVNOがMNPシステムから取得できる契約者の転入出に関する情報は、以下の通り限定的
 - ①MNP転入時（他事業者→MVNO）
MNP予約番号より、転出元のMNO（転出元事業者がMVNOの場合は回線提供しているMNO）のみが識別可能であり、契約ブランドやプラン等は識別不可
 - ②MNP転出時（MVNO→他事業者）
転出先の事業者やブランド・プランに関する情報はMNPシステムから一切取得不可
- 上記背景等から、MVNOはアンケート等によりMNP転入出の利用者動向を把握している状況



MVNO契約者の他社乗換え意向

- MVNO契約者1,050名（7社×150名）のうち、乗り換え検討者の350名の回答を抽出
- サブブランドと廉価プランへの乗換え意向は全体の1/3を占めており、MVNOにとって脅威となっている状況
- 現状の市場状況を踏まえると、今後もMVNOからサブブランド等への乗換えが継続する可能性が高い

アンケート対象者数：350名
回答数（MA）：579件

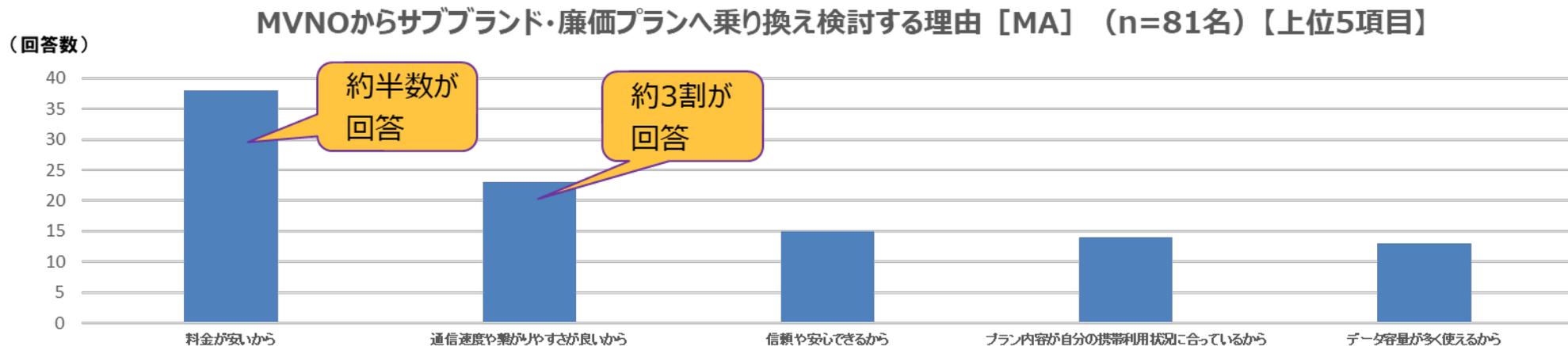


サブブランド+廉価プラン
35%

出典：MMD研究所2022年3月通信サービスの利用動向調査データを基に当委員会にて作成
※本調査は、18～69歳の男女40,000人を対象としたインターネット調査で、2022年2月に実施

サブブランド・廉価プランへの乗り換え検討理由

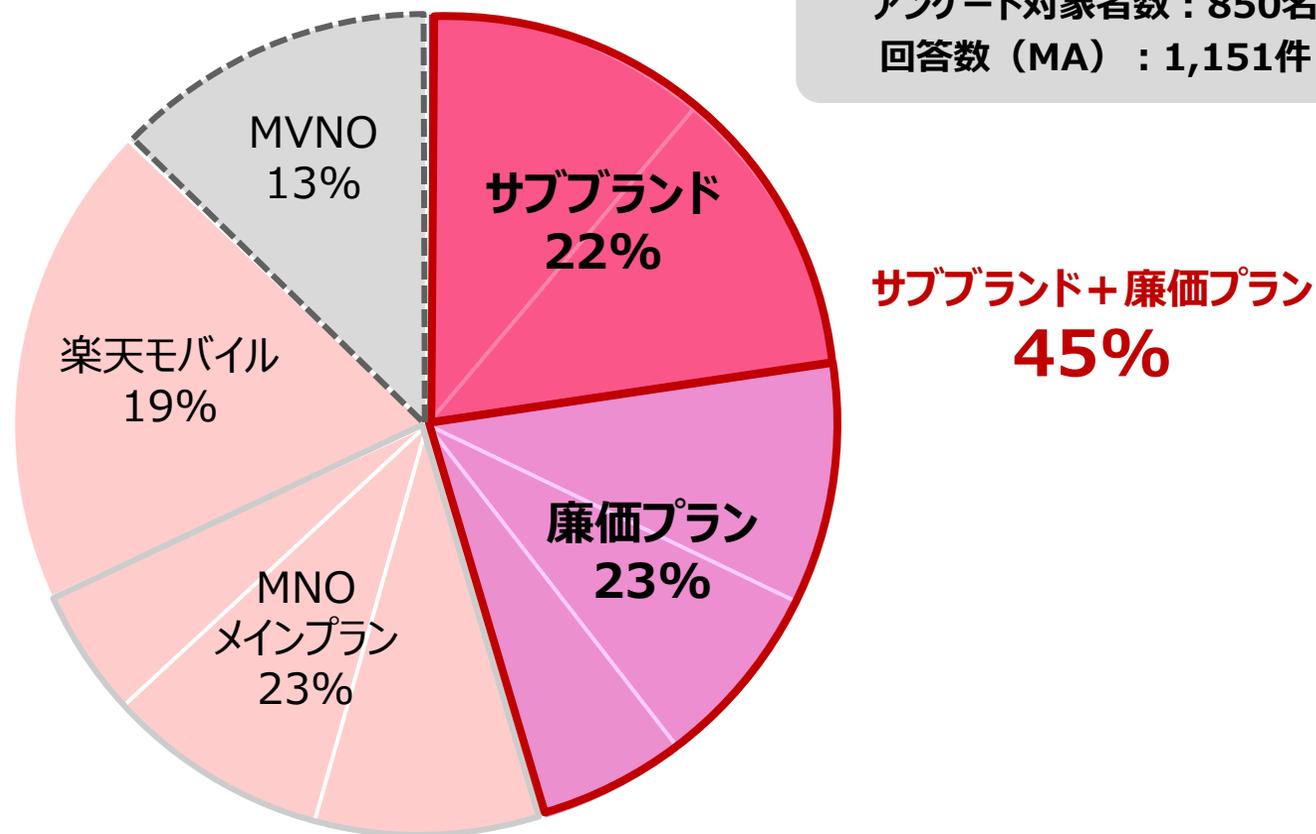
- 最も優先順位の高い乗り換え先としてサブブランドもしくは廉価プランと回答したMVNO契約者（81名）の多くが、**料金面と通信速度などの品質面のバランスを重視している**と推察



主な理由	件数	割合
料金が安いから	38	47%
通信速度や繋がりやすさが良いから	23	28%
信頼や安心できるから	15	19%
プラン内容が自分の携帯利用状況に合っているから	14	17%
データ容量が多く使えるから	13	16%
プラン内容が分かりやすいから	12	15%
新しいプランに興味があるから	11	14%
かけ放題の有無など、自分で必要な機能を選択して料金を変えられるから	10	12%

MNO契約者の他社乗換え意向

- MNO契約者約2,656名（9プラン×約300名）のうち、乗り換え検討者の850名の回答を抽出
- サブブランド・廉価プラン・MVNOは料金水準が近接している一方で、乗り換え検討先の割合に大きな差が生じている状況



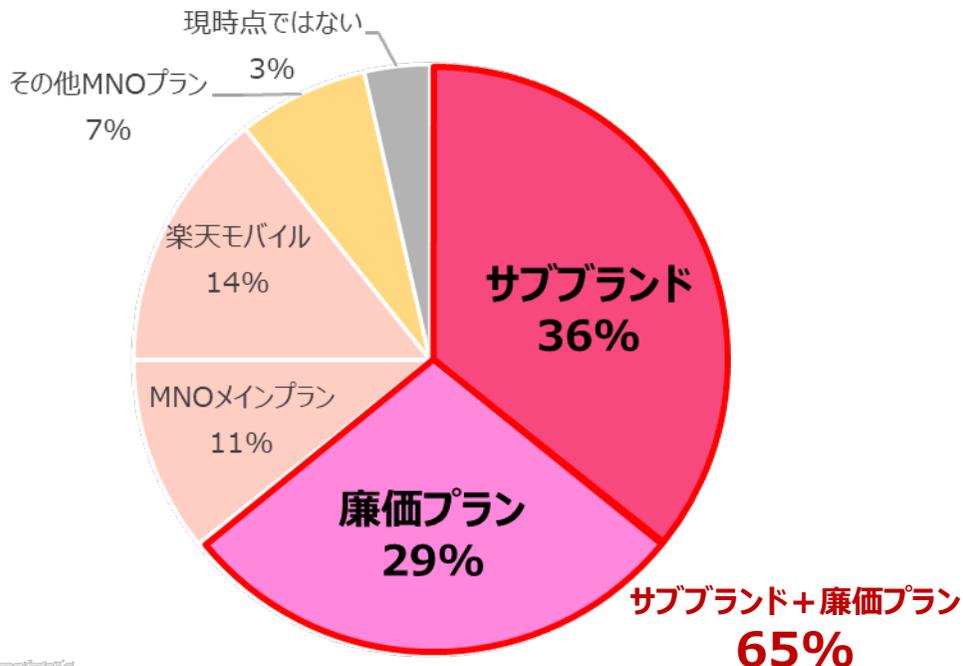
出典：MMD研究所2022年3月通信サービスの利用動向調査データを基に当委員会にて作成

MVNO各社へのアンケート結果(競合するサービス・プラン、容量帯)

- 当委員会に加盟しているMVNOに対し、競合するサービス等についてアンケートを実施し、16社より回答を取得
- MVNO各社のプランと競合するMNOのサービス・プランについては、サブブランドと廉価プランが全体の2/3を占めており、月当たりの容量帯は、サブブランドは3GB未済から20GB未済までと幅広く、廉価プランは3GBから20GBが中心

競合するMNOのサービス・ブランド

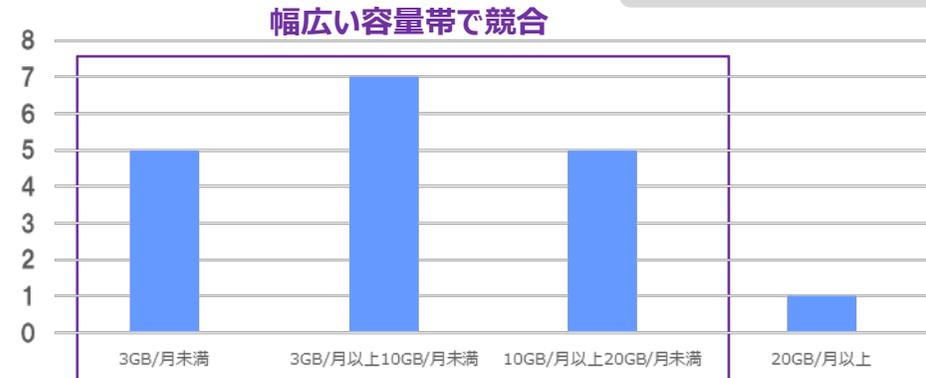
アンケート回答社数：16社
回答数 (MA)：28件



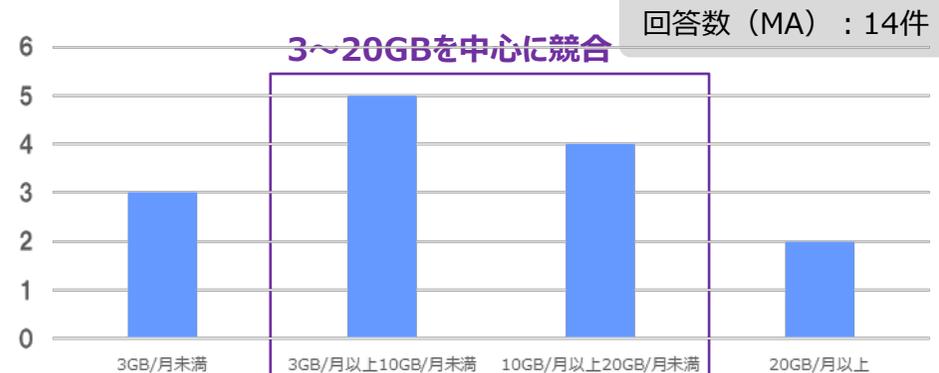
競合するサービス・ブランドの月当たりの容量帯

回答数 (MA)：18件

サブブランド



廉価プラン

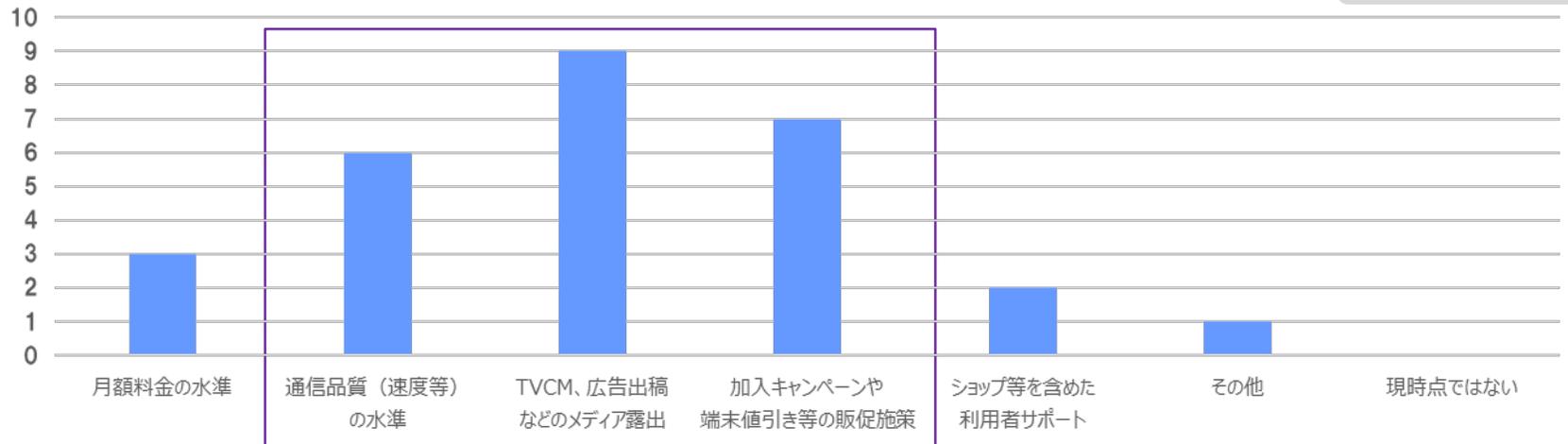


MVNO各社へのアンケート結果(同等のサービス提供が困難な理由)

- MVNOがサブブランドや廉価プランと同等のサービス水準で提供できないと考える主な理由については、**通信品質と宣伝広告を挙げる割合が大きく、加えてサブブランドでは販促施策の割合も大きい**

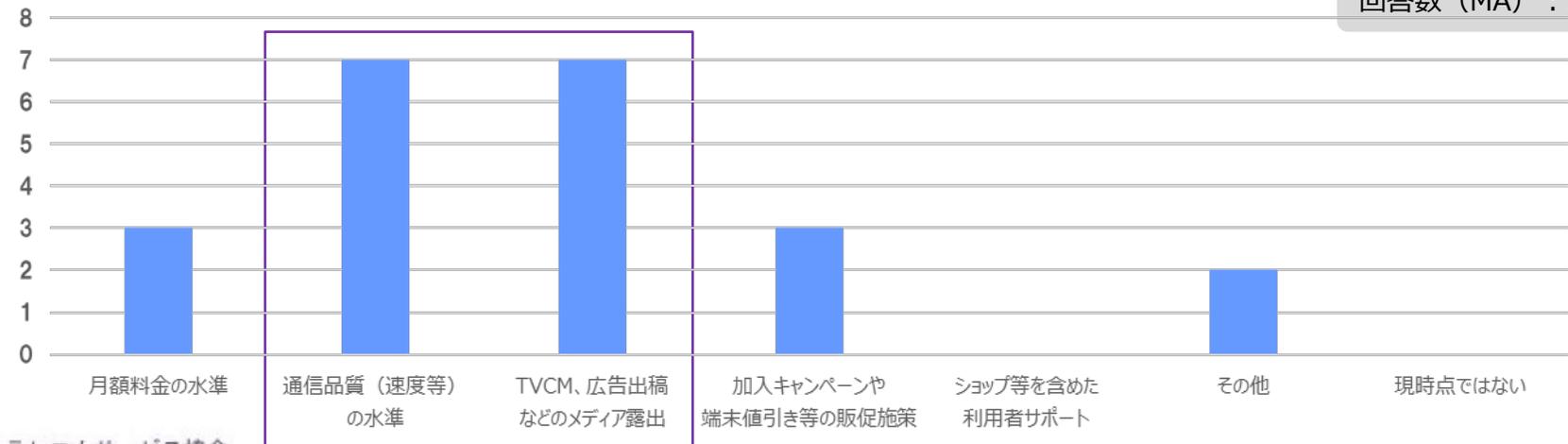
回答数 (MA) : 28件

サブブランド



回答数 (MA) : 22件

廉価プラン



一般社団法人テレコムサービス協会

MVNO委員会

MVNO事業に関する情報収集、調査・研究 等)

◆ 構成員 : 61社 (2022年9月1日現在)

運営分科会

- MVNO委員会の運営に関する事項の検討
- MVNOに関する課題の抽出、問題点の分析・整理
- 抽出された課題の解決方策案の検討
- MVNOに関する政策提言等の案の検討

消費者問題分科会

- 消費者問題全般についての情報共有
- 消費者問題に関する課題の抽出、問題点の分析・整理
- 抽出された課題の解決方策案の検討
- 消費者問題に関する政策提言等の案の検討

不払者情報交換 連絡部会

- 未払のある加入者の情報交換
- 不払者情報交換への加入 等

不適正利用防止 検討部会

- 特別利用停止者の情報交換 等

MVNOの実効速度 に関するTF

- MVNOの実効速度計測手法及び
広告表示提案 等

- (株) アイ・オー・データ機器
- (株) アクセル
- (株) 朝日ネット
- イオンリテール (株)
- (株) インターネットイニシアティブ
- (株) インテック
- H.I.S.Mobile (株)
- (株) S T N e t
- エックスモバイル (株)
- N E C ネットズエスアイ (株)
- N T T コミュニケーションズ (株)
- (株) N T T P C コミュニケーションズ
- N T T レゾナント (株)
- (株) 愛媛 C A T V
- (株) ALL Rise Group
- (株) オプテージ
- 兼松コミュニケーションズ (株)
- 近鉄ケーブルネットワーク (株)
- (株) コスモネット
- (株) コミュニティネットワークセンター
- (株) サジスタム
- G M O インターネットグループ (株)
- (株) シー・ティー・ワイ
- J C O M (株)
- (株) J ストリーム
- シネックスジャパン (株)
- シャープ (株)
- (株) 情報通信総合研究所
- スターネット (株)
- スマートモバイルコミュニケーションズ (株)
- ソニーネットワークコミュニケーションズ (株)
- ソニーネットワークコミュニケーションズスマートプラットフォーム (株)
- S O R A シム (株)
- (株) チュピ C O M
- T I S (株)
- D X H U B (株)
- (株) テレコムスクエア
- (株) TOKAI コミュニケーションズ
- トランスコスモス (株)
- (株) ドリーム・トレイン・インターネット
- (株) No.1 パートナー
- ニフティ (株)
- (一社) 日本ケーブルテレビ連盟
- 日本通信 (株)
- (株) ハイホー
- (株) 日立システムズ
- ビッグロブ (株)
- 富士通 (株)
- 華為技術日本 (ファーウェイ・ジャパン)
- (株) フォーバルテレコム
- フリービット (株)
- 丸紅テレコム (株)
- 丸紅ネットワークソリューションズ (株)
- (株) メディエーター
- (株) モバイルアーツ
- (株) U - N E X T
- L I N E (株)
- 楽天モバイル (株)
- (株) ラネット
- (株) LinkLife
- (株) レキオス